

鹿児島県の火山災害を知る

～妊産婦・乳幼児支援につなげるために～

火山とともに暮らす鹿児島で、
母子を守る備えと支援を考える

2026年11月21日（土）

10:00 - 12:00

（昼食後 | 会場参加者限定 井村先生と考える
「災害時、助産師はどう動く？」）

対面・オンライン ハイブリッド開催
（アーカイブ配信もあります）



降灰・火山ガス・避難生活など、火山災害の基本と、鹿児島県の地理的特徴から想定される被害や暮らしへの影響を学びます。妊産婦・乳幼児への支援につなげるために、まず火山災害を正しく知ることから始めます。

この研修で学ぶこと

- 火山災害とは
- 鹿児島県の火山と地理的特性、想定される被害
- 暮らしや健康への被害
- 降灰環境下での生活課題（避難・物流・交通・ライフライン・住まいへの影響）
- 妊産婦や乳幼児の健康・暮らしへの影響
- 火山災害への平時からできる備え

午前は「知る」。午後は「現場でどうする？」を考える。

正解のない災害現場で、その時の「最適解」を探る。

災害の状況も、そこにいる人も、使える資源も、その時々で異なります。午前の講義を踏まえ、病院・地域・避難先など具体的な場面から「その時、助産師として何ができるのか」を考えます。

井村先生も午後まで参加。火山・災害現場の視点を交えながら、一緒に最適解を探ります。

※午後の企画は会場参加者限定です。午前の研修受講者は追加料金なしで参加できます。昼食はご持参ください。

14:00 頃終了予定。

講師

井村 隆介 先生

鹿児島大学 総合教育機構 共通教育センタ - 自然科学教育部門 准教授／博士（理学）

地形学・地質学の手法を用いて、火山噴火史や地震・津波の発生履歴、自然災害を研究。鹿児島県内の火山防災・防災教育にも長年取り組まれています

会場 鹿児島女子短期大学

〒890-8565 鹿児島市高麗町6番9号

鹿児島中央駅から徒歩約 10分／市電「新屋敷」電停から徒歩約 3分
※会場には駐車場はありませんので近隣の駐車場をご利用ください。

参加費：事前振り込み（振込のお名前の前に 02を入れてください）

鹿児島県助産師会会員 1,000 円 県外会員 1,500 円

一般 2,000 円 学生 500 円

お申し込み



forms.gle/jctq5S6EHUwWpSxc 7